

総括質問

今定例会では、11人の議員が議案や市政を問う「総括質問」を行いました。各議員の詳しい質疑内容は、市議会ホームページの議会中継（録画放送）をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。

議長ダイアリー

平塚市議会議員 府川 正明

議長の出席した主な会議などをお知らせします。(2月~4月)

- 2月4日 湘南地方市議会議長会
- 2月5日 都市行政問題研究会第103回総会
- 2月8日 内外情勢調査会
- 2月19日 全国市議会議長会第155回社会文教委員会
- 4月11日 内外情勢調査会、リニアア共和国オリンピック委員会委員歓迎レセプション
- 4月25日 神奈川県市議会議長会第196回定例会
- 4月26日 関東市議会議長会第82回定期総会

清風クラブ

「夢ある未来」平塚を創る

片倉 章博 議員

高齢者がいきいきと暮らすまちづくり

在宅介護の課題は多く、医療と介護の連携推進や介護サービスの充実、地域の見守りなど、心身の負担を軽減するための生活支援が重要である。現在の高齢化率と平成37年の予測を伺う。

福祉部長 27年1月現在の高齢化率は25.4%であり、37年は28.3%になると予測している。要介護者や認知症高齢者も増加し、在宅介護サービスや入所施設の不足、介護保険料の高騰などが危惧される。

問 町内会役員や民生委員、地区社協など地域の高齢化も進み、負担感がある。職員や嘱託員を地域へ派遣する考えはあるか。

福祉部長 地区社協から負担の大きさは聞いているが、

職員の派遣は考えていない。しかし、地域づくりを考える中で、今後の研究テーマの一つに間違いはない。

問 独居の方の情報は民生委員には入っているが、町内会長などに共有されない。どのようにシステムを構築し、情報の一元管理をしていくのか。

福祉部長 高齢者よろず相談センターや町内福祉村でも話を聞かすが、地域包括ケアシステムの中で地域ケア会議が集約を担っている。

中心市街地高度地区見直し

問 本市唯一の駅がある中心市街地は、市の玄関、顔として、持続可能な発展と時代に合わせた機能が求められる。平塚都市計画高度地区の運用基準など、どのように見直しを行ったか。

まちづくり政策部長

中心市街地の商業地域で、敷地の共同化により高い建物を建てやすくした。低層階に店舗、上層階に住宅となる建物の誘導を行い、居住の促進やにぎわい創出を目的に見直した。パルロードやスターモールなどの商店街へ店舗の集積を図った。明石町の一部で、低層階への商業施設の設置規定をなくし、共同住宅の供給によるまちなか居住を推進した。

問 優良建築物等整備事業の範囲を平塚駅南口周辺へ拡大するのか。

まちづくり政策部長 都市計画高度地区の運用基準などの見直しに伴い、事業の対象エリアを拡大した。駅南口周辺の商業地域で容積率500%の区域も含むことになった。

産業系土地の誘導施策

問 産業発展のため、地域の事情に応じた土地施策や

まちづくり政策部長

市街行政誘導による企業移転など優遇策を検討しているか。

まちづくり政策部長 市街地調整区域の農地を守りつつ、雇用創出の観点からも企業誘致策を行っている。圏央道開通による神奈川県の新たな方針に基づき、都市計画制度で対応できる施策を研究していく。

水害対策について

国・県・市の役割分担と連携が重要である。河川整備について進捗状況と取り組みを伺う。

防災危機管理部長 相模川の堤防整備率は、平成27年末で約78%である。現在、右岸では、四之宮地区の堤防整備工事を実施している。左岸では、須賀地区の堤防整備を進め、今年度末には約4割が完成する予定であり、今後は国道1号下流部の堤防整備を進めると聞いている。金目川の上平塚地区の堤防工事について、30年度からの着手に向けた説明会を開催するなど手続きが進められている。

問 浸水対策の基本計画に

ある重点対策地区の現状と今後の取り組みを伺う。

安心・安全なまちづくり

須藤 量久 議員

ある重点対策地区の現状と今後の取り組みを伺う。

防災危機管理部長 中原地区では河川の逆流を防ぐゲートの設置、また岡崎

問 プロモーションビデオは特色あるものでなければいけないと思うが、「平塚イメージングストーリー」はインパクトがなかった。賞金を出してストーリーを募集するなどの取り組みを検討したらどうか。

企画政策部長 ビデオは、インパクトがなければ情報発信が弱くなる。どうい

新町、横内、須賀地区では、雨水管整備工事を実施している。さらに徳延、中原、豊田地区では土のうステーションを追加設置した。引き続き、雨水管の整備や雨水流出抑制施設の設置など自助、公助を組み合わせた減災対策を行う。

問 避難指示や避難勧告などの緊急を要する情報は、早め早めの発信が必要である。今後の取り組みを伺う。

防災危機管理部長 洪水、内水、土砂に関する各種ハザードマップを作成、配布している。今後はホームページなどで、市や気象庁が発表する避難情報の意味や市民がとるべき行動などを分かりやすく解説するとともに、地域の訓練でも説明を行い、市民に理解してもらえよう努めていく。

このほかの質問 大学生消防団 平塚市教育大綱婚活・ひらつか出会いプロジェクト 都市農業振興基本計画について

問 市民への周知や説明会の開催が重要であると思う

問 住民への周知や説明会の開催が重要であると思う

問 市民への周知や説明会の開催が重要であると思う

問 浸水対策の基本計画に

ある重点対策地区の現状と今後の取り組みを伺う。

問 市民への周知や説明会の開催が重要であると思う

問 市民への周知や説明会の開催が重要であると思う